

平成 26 年度 第 3 回長崎県がん診療連携拠点病院研修会  
(アンケート調査結果)

開催日 平成 26 年 9 月 5 日 (金)

時 間 18 : 30~20 : 00

場 所 長崎大学医学部 良順会館 ボードインホール

出席者 123 名 回答者 69 名

出席者の内訳

| 施設名<br>職名 | 大学<br>病院 | 長崎みなとメディカル<br>センター市民病院 | 長崎医療<br>センター | 原爆<br>病院 | 諫早<br>総合病院 | 愛野記念<br>病院 | 井上<br>病院 | 三菱<br>病院 | 他施設  | 合計    |
|-----------|----------|------------------------|--------------|----------|------------|------------|----------|----------|------|-------|
| 医師        | 6 名      | 0 名                    | 0 名          | 0 名      | 0 名        | 0 名        | 0 名      | 0 名      | 0 名  | 6 名   |
| 薬剤師       | 0 名      | 0 名                    | 0 名          | 0 名      | 0 名        | 0 名        | 0 名      | 0 名      | 0 名  | 0 名   |
| 看護師       | 35 名     | 4 名                    | 2 名          | 1 名      | 8 名        | 9 名        | 3 名      | 7 名      | 34 名 | 103 名 |
| 放射線技師     | 0 名      | 0 名                    | 0 名          | 0 名      | 0 名        | 0 名        | 0 名      | 0 名      | 0 名  | 0 名   |
| MSW       | 2 名      | 0 名                    | 0 名          | 0 名      | 0 名        | 0 名        | 0 名      | 0 名      | 1 名  | 3 名   |
| 事務職員      | 4 名      | 0 名                    | 0 名          | 0 名      | 0 名        | 0 名        | 0 名      | 0 名      | 0 名  | 4 名   |
| 作業療法士     | 0 名      | 0 名                    | 0 名          | 0 名      | 0 名        | 0 名        | 2 名      | 0 名      | 1 名  | 3 名   |
| その他       | 0 名      | 0 名                    | 0 名          | 0 名      | 1 名        | 0 名        | 1 名      | 0 名      | 2 名  | 4 名   |
| 合計        | 47 名     | 4 名                    | 2 名          | 1 名      | 9 名        | 9 名        | 6 名      | 7 名      | 38 名 | 123 名 |

～今回の講演の内容について～

特別講演「がん患者への支援 - 告知と意思決定 - 」

① よかったところ

- ・この分野での研修会はなかったの、新鮮であった (医師)
- ・がん患者によりそって話を聴く。勉強になりました (看護師)
- ・日本の患者の特性を知ることができ、意思決定支援する上でのヒントを頂きました。(看護師)
- ・意志決定支援を学べたことがよかった (看護師)
- ・今後の患者への対応について勉強になりました (看護師)
- ・看護師として患者・家族をサポートする核が明確になりました。(看護師)
- ・拠点病院ではない施設に勤めているが、IC のプロセスなど参考になった (看護師)
- ・意志決定支援に関する看護師の役割がきけたこと (看護師)
- ・QOL、尊厳の意味を改めて考え直せるような気がします。(現場で表出できるか不安ですが) (看護師)
- ・患者の権利譲渡の大切さや、患者の意思決定支援に大事にしなければならない自律性の尊重について看護師としての心構えや接し方がわかりやすかった。とつてもためになる講義だった。(看護師)
- ・わかりやすかった。専門性をもつ看護師の重要性や役割を再認識できた。(看護師)
- ・“患者→患者への代弁” などのキーワード (看護師)
- ・外来での意思決定支援システムは参考になった。当院ではどう行おうかつなげていきたい (看護師)

- ・私は今日まで患者様に「何が大切か？とか誰に会っておきたいか？」など質問してはいけないと思っていたのですが…（あなたの余命は短いですと言っている様なものですから。）その質問をする意味さえ自分が理解できていれば、むしろ聞くべきことなのだとということがわかりました。（看護師）
- ・看護師対象の研修であった（看護師）
- ・意志決定を支援する（看護師）
- ・看護師としてのハブとしての役割、ICプロセスの重要性（看護師）
- ・具体的な援助方法や介入の仕方を示してもらったところ（看護師）
- ・新しい情報がきけて、とても勉強になった。（看護師）
- ・自律性や尊厳を支える看護姿勢について、権利擁護のための質問について（看護師）
- ・現場で困っていることの解決策や、ジレンマを少し解消できた（看護師）
- ・意思決定支援の場面での看護の役割が非常に大きいことがわかりました。（看護師）
- ・意思決定支援について、具体的にわかりやすい内容だったと思います。今後の自分の役割についての大きなヒントをいただくことができました。ありがとうございました。（看護師）
- ・QOLを考える為に看護する（看護師）
- ・臨床の現場で自分が行っている事の意味づけができた。またプラスになるエッセンスを頂けた（看護師）
- ・実例をあげて説明していただいて、現場とのイメージが近くなりわかりやすかった。（看護師）
- ・普段の意思決定の支援を振り返る良い機会になりました。ありがとうございました。（看護師）
- ・ICに関して事前に梅田先生は患者に対し“今から難しい話を受けるかもしれません”とおっしゃっているという風に言っていました。IC前にそのように聞いていることで、患者さんもDr.のIC中分らない事が明確に質問できるのではないかと思います。なかなか難しいけど、そのような声かけは大事だなーと思いました。（看護師）
- ・IC（看護師）
- ・看護師が患者さんと医師の間に立って患者さんに寄り添って行くことの大切さが良くわかった（看護師）
- ・看護師の役割が学べた。（看護師）
- ・これまで、医師の診療計画のもとに、治療の介助をし、副作用の対応をするのが看護だと思っていましたが、治療の前に介入することの大切さや介入の必要性がわかり、それを実践することが看護だと、気持ちを改める（というか考え方を変えるというか…）事ができました。（看護師）
- ・自律、尊厳の支援（看護師）
- ・資料があった（看護師）
- ・正しいICのあり方を知った。現場で生かせる研修でした。（看護師）
- ・「悪い知らせを伝える前のケア」について、いつも告知後の関わりであったので勉強になりました。（看護師）
- ・告知前のかかわりからとても重要な事がわかりました。（看護師）
- ・患者・家族への具体的な関わり、声かけなどを教えてくださり、わかりやすかった（看護師）
- ・患者様の代弁者！！患者様のとらえかた（看護師）
- ・意思決定のサポート、具体的に提示して頂き、ありがとうございました。（看護師）
- ・とてもわかりやすいお話でした。2年目Nsですが聞きやすかったです。（看護師）

- ・インフォームドコンセント前に患者の気持ちの確認（看護師）
- ・わかりやすく、理想とする患者への看護・医療のあり方だと思いました。日本的思考な好に、地域性もあるのかと思う位、感じていました。その中でどの様に関わっていくか明確でした（看護師）
- ・これからの患者さんとの関わりに生かせそうと思った（看護師）
- ・ICでの看護師の役割、声かけ等を聞いたこと（看護師）
- ・自立の尊厳を重視した関わりが大切（看護師）
- ・悪い知らせを、伝えられた後のケアが勉強になった（看護師）
- ・話がわかりやすかった（看護師）
- ・看護に焦点をあててもらい、勉強になりました（看護師）
- ・大変参考になりました。ありがとうございました（看護師）
- ・Nsの関わり方が少し理解できた。傾聴することの難しさをおもった。（看護師）
- ・看護の専門性を生かして患者さんへケアや対応をしていけるように頑張っていきたいと思った。（看護師）
- ・「本人の喜び・楽しみ・生きがいを聞く」事が大切。あくまでも本人のためですね。（看護師）
- ・現場で実際に関わっている事を、事例をまじえながら説明していただく事ができとてもよかった。改めて告知する時の、時、場所、どういう家族、本人である事をしっかり理解し、Pt、家族に寄り添い関われるように頑張りたい。（看護師）
- ・「何が、誰のためか」とても大切です。胸が痛みます。（看護師）
- ・とてもわかりやすい内容で理解しやすかったです（MSW）
- ・緩和ケアのことをよく知らなかったので、全てが参考になりました。（ST）
- ・インフォームドコンセントのプロセスの4段階がすごく分かりやすかった。個人の事情や人生をふまえた個別化した判断が必要だと本当に感じた。（臨床心理士）
- ・患者と家族の橋渡しが大事ということがわかった（OT）
- ・多種（職）の意見は非常に勉強になりました。（その他）

## ② 気になったところ

- ・やや冗長な感じがした。（医師）
- ・意思決定。患者からうまく引き出す。関わり（看護師）
- ・訪問看護師になる為には、かなりハードルが高い。（看護師）
- ・東洋人の自己と自我の曖昧さ（看護師）
- ・でも…私には、その質問はできないと思います。自分が泣いてしまうからです。医療従事者として失格です。感情移入してばかりいては、患者様のケアなんか不可能ですね。梅田先生、心からご尊敬申し上げます。しかし、必ずや、明日からの看護に生かしたいと思っております。ありがとうございました。無記名で申し訳ありません。（看護師）
- ・ICに同席のケア、具体的な声かけの例を利用して次から実践します。（看護師）
- ・マギーズセンター（看護師）
- ・自分が大切にしていることは何か Pt に気付いてもらう関わり方（看護師）
- ・対象 Dr.を選ぶ？（看護師）

- ・外来における活動をきけたが、病棟 Ns（断片的にしか関わられてない）として、意志決定支援できること、ポイントがもう少しききたかった。（看護師）
- ・生きがいや楽しみを、がんの患者さんに聞く事が大事なのは十分わかりますが、なかなか実践できないのが現実です…（看護師）
- ・ICの形、治療の導入からの関わりの大切さ！！（看護師）
- ・ICの「C」なかなかできていないような気がします。病棟で勤務していると、なかなか「専門看護師」との関わりが少ない、ほぼないような気がします。（看護師）
- ・殆どの医療者が思っていることだと思います。大学病院だからこそ、この様に関わって頂きたいと思います。トップとなる Dr.にこそ行って頂きたいですが、その様な Dr.・Ns へかわって頂くためにどうしたらいいのでしょうか？対象 Dr.へのアプローチなど（看護師）
- ・自律性や尊厳を支える看護姿勢という所で、現在自分が行っているところにこの様な部分が抜けていたような気がするので再認識につながった。（看護師）
- ・はやかったので、90分でやってもらった方がわかりやすかったと思いました。（看護師）
- ・癌治療の治療費が高い、サポート、気軽に相談できる場所がもっとあるといいかな（看護師）
- ・日本でもマギーが沢山でき、自分たちもそこでサポートしていけるように、もっともっと自分がいろんな知識を身につけていきたいと思った。（看護師）
- ・倫理カンファレンスの実際を知りたい（看護師）
- ・マギーズセンター行ってみたいです。（MSW）
- ・質問の時、もう一度患者様にこれまでのことや、Dr.から告知された時のことを話してもらおうということでしたが、つらいことを何度も話させないでいいのではないかと思います。（ST）
- ・やはり東京のとりにくみはすすんでいるな、と思った。地方との格差を感じる。（臨床心理士）
- ・専門以外の看護師ができる事、もっと聴きたかったです（その他）

### ③ 講演に対する要望

- ・具体的な事例を通して、どのような関わりを行っていったのか聞いてみたかった。（看護師）
- ・意思決定に大事な事前準備、私達ができる支援内容が知れてとても勉強になりました！QOLを上げるための緩和ケアには、自律性や尊厳を守る事が大事という事がよく分かりました。（看護師）
- ・「病棟においてのがん患者との関わり、ポイント」ももっと知りたいです。（看護師）
- ・わかりやすいので、院内でも講演して頂きたいです。（看護師）
- ・緩和ケアに興味がありましたが、なかなかふみこめず、緩和ケア研修に初めて参加させていただきました。事例紹介をもっと聞けたらと思います。（看護師）
- ・少し専門性が高い話だと感じています。（看護師）
- ・梅田 恵さんにまた講演してほしいです（MSW）
- ・もう少し長くききたかった（臨床心理士）
- ・告知を本人に行わない場合はあるのか（OT）

#### 次回の講演で希望すること

- ・薬剤・薬学などの話（医師）
- ・患者さんの援助をしていく中で、意図的な支援をしようとしたり、他のスタッフに言語化して伝えたり、共通の認識をもつためには、心理学の基礎知識も必要と思うので、そのあたりの講演や学習の機会があったら知りたいです。（看護師）
- ・丁度いい時間でした。（看護師）
- ・勤務後の参加が可能なのでよい。（看護師）
- ・もっと定期的に行われるといいかなあと思います。（看護師）
- ・患者さんや家族の方も参加できるようにしたらもっといいと思います。（看護師）
- ・今回の時間・場所でもかったです。（看護師）
- ・現在の県内のがん治療の現状がもっと知りたい（看護師）
- ・告知を本人に行わない場合はあるのか（OT）

#### がん診療センターに対するご要望があれば教えてください

- ・ありがとうございました。（看護師）
- ・外来と病棟との連携が十分はつきできていないような気がします。交流の場がほしいです。（看護師）
- ・がん診療報酬について、理解されていない医師が多いと思います。看護師にばかり負担があり、がん診療連携拠点病院として、診療報酬がとれるように医師に頑張って頂きたいです。（看護師）
- ・とてもよい講演がきけてよかったです。また参加したいと思います。（看護師）
- ・告知に対する Dr.の考え。患者自身への告知をどう捉えているのか（OT）